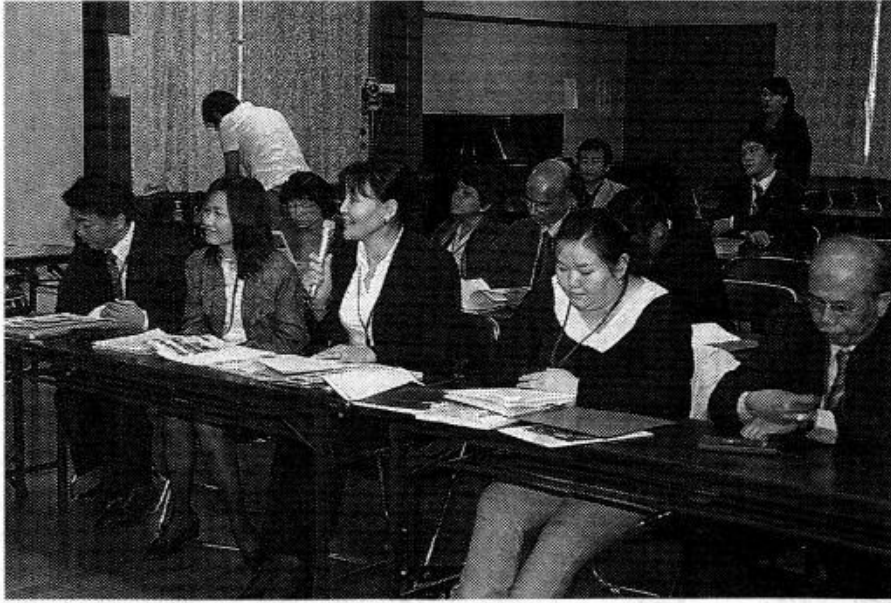


公民館活動学ぼう

岡山でサミット始まる
アジア9ヵ国の20人出席

アジアの政府、教育関係者が日本の公民館活動を学ぶ「公民館サミット」(岡山大など主催)が二十七日、岡山市で始まった。初日は京山公民館(同市伊島町)を訪れ、



京山公民館の活動への感想を話すサミット
出席者(中央)

地域ぐるみで取り組む環境学習について学んだ。

タイ、インドネシアなど九カ国から約二十人が出席。「京山地区ESD(持続可能な開発のための教育)推進協議会」の池田満之会長が、投

棄されたごみの実態調

査や用水の水質分析などの活動を「世代を超えた参加が特徴で、子どもたちは将来の環境教育の担い手として期待されている」と説明した。

杉村洋子館長は、男性料理教室や幼児向け英語講座など、同館の約百二十クラブの活動を報告。出席者は「社会教育を進める上で公民館活動は有意義」「学校教育との連携も学びたい」といった感想を述べた。

サミット出席者は二十九、三十日、笠岡市白石島の白石公民館を見学し、離島での公民館活動に理解を深める。最終日の十一月三日は、岡山大(岡山市津島中)でのシンポジウムに参加する。

(白桦正純)